●小山乃里子（ノコちゃん）の 華麗なる食べある記

＜55＞ サンドイッチハウス ココ ア ココ
＜56＞ 西洋料理 セントジョージ・ジャパン

□ココ ア ココ

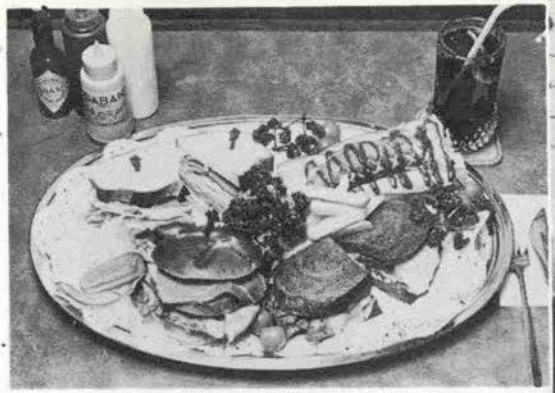
★89種類のサンドイッチ、テイクアウトもOK

なんと、八十九種類のサンドイッチを食べさせる店が神戸にできたと聞いたのは昨年の夏だった。前を何度も通りながら、つい入りそびれて半年、本当にこの両手にあまるメニューを開げ、その種類の豊富さと、内容のユニークさ、ネーミングの楽しさには圧倒される思い。

シカゴの、D・B・カプランという店に修業に行った店長の加畑さん、毎日サンドイッチと取り組む日々だったそうだが、努力のかい、というのか誠意のあらわれなのか、開店以来一年四ケ月、店内は学校帰りの女子学生、外人、これは当然かな、でワイワイ。近所の店の御主人達が連れもって入口のカウンターに坐っている。カウンターは9席、中へ入ると、丸いテーブルと椅子がいかにもアメリカ的で、これが四十八席。ちょっとしたパーティなら、大きなお皿に盛り合わせのサンドイッチが雰囲気を盛り上げ、楽しくなることはうけ合い。

1コは、メニューの中から当然のごとく「マリリン・モンロー」を選んだ。黒パンの中から、とろりととけたモツァレラチーズ（舌がもつぁれらあ）と、鮮やかな赤いパストラミが顔を出している。とてもこの小さな口ではかぶり切れないと思いつつも、ナイフとフォークを使うなんて野暮もいいとこ。ちょっと酢っぱめの味つけが黒パンに良く合って本当にこれはモンローよ（なんのこっちゃ）。

メニューには、パンの種類は一応決まっているが、好きなものを注文もできる。ちなみに、ライ麦パン、黒パン、コーリーパン、小麦パン、フランスパン、カイザーロール、オニオンロール、ベイゲルパン、これだけある。そして各サンドイッチには、フレンチフライまたはコールスロー（キャベツのサラダ、ピクルス添え）がついている。八十九のうち、一番多いのが肉とハムを材料としたもの、ソーセージとサラミがそれに次ぎ、面白いのが特別サンドイッチ。なんとまあ今は亡きハリウッドの名優の名前がずらり。クラーク・ゲーブル、嗚呼レッド・バトラー様、なんてため息と共にガブリ。ジェームス・ディーンは涙と共に流しこもう。アメリカの夢を見たい方は、ナンバー61から73までをどうぞ。サンフランシス



ヴォリュームたっぷりのサンドイッチ（左上／ショットガン　右上／コマンチ　左下／ステーションワゴン　右下／マリリンモンロー）

「1番種類が多いのはお肉とハムを材料にしたものですね」と話す加畑さん

コからマイアミ、ニューオリンズ。メニューの下にパンとかチーズの種類、もろもろ書いてあるが、これをパッと見て、どんなものが出て来るのかが想像つく人は、かなりこの店に通いつめている人と見てもいいと思う。名前で選ぶもよし、好きな番号で選ぶもよし、そして、どんなものが運ばれて来るのかしばし待つ間の楽しさ、期待を裏切らない味付け。コーヒー飲み放題なんて、このせちがらい世の中嬉しいじゃないですか。

サンドイッチ／ステーションワゴン・980円　ショットガン・850円　マリリンモンロー・1300円　コマンチ・650円　ランチ10種／550円～880円（スープ、コーヒー付）　コーヒー・280円
中央区加納町4丁目7－11　パレ北野坂1F　☎392－4031　午前11時～午後11時（日祝／午前11時～午後7時）　ランチタイム／午前11時～午後2時

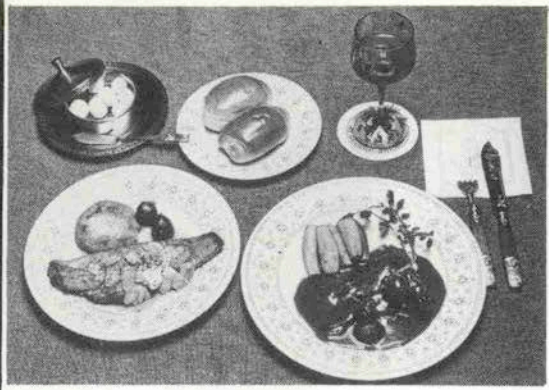
□セントジョージ・ジャパン

★レパートリーの広い料理を異人館で

ポートピアは、はるか海の上でのことなのに、この北野町の賑わいはどうだろう。異人館ブームは、もはや確実に根をおろし、その根が広がり、観光の名所になった街並を、人波に逆らいながら歩く。不動坂を通り、ほんの少しでセントジョージに着く。会員制という文字がその庭に入るのを少しためらわせるが、いつ見ても素敵な建物である。ここも異人館なのだ。ドイツのクッペさんちを改造して八年前にオープンした当時、その内部の広さ、柱の太さ、庭からのながめの素晴らしさにうっとりしたこと、昨日のことのように思い出した。

それ以来、会員ではないけれど、パーティなどで訪れるたび、こんな家に住んでみたいという想いはつのるばかりである。現在会員数、千五、六百人。もっとも、会員でなくても入れるから、ランチタイムなどは満席という話はうなづける。二階の、あの突き当たりの部屋を寝室にして、隣はクロークルーム、腕のたつ料理人、ハンサムな執事。長いドレスで優雅に階段をおりて来ると、

セントジョージ・ジャパン



左／ソール・ムニエル・アーモンド　右／コキュー・オ・シャンベルタン

「皆さんそれぞれ、自分のサロンとしてご利用いただいています」と話す料理長の井本健三さん

おいしそうな料理の匂いがただよって……例のごとく夢を見ていたら、本当に目の前に大きなお皿が二皿並んだ。

井本料理長が腕をふるって下さった今日のメニューはコキュー・オー・シャンベルタン（チキンのワインむし）と、ソウルムニエル・アーモンド（舌ビラメのバター焼き、アーモンド添え）。

シャンベルタンというフランスワインを使ったソースは、やわらかいチキンの肉にまったりとからみつき、ピリッとしたからみがワインに合う。チリチリッと焼き上がった舌ビラメ。バターの香りと、薄くカリリッといためられたアーモンドがおいしく、これだけもう一皿ほしい位だった。

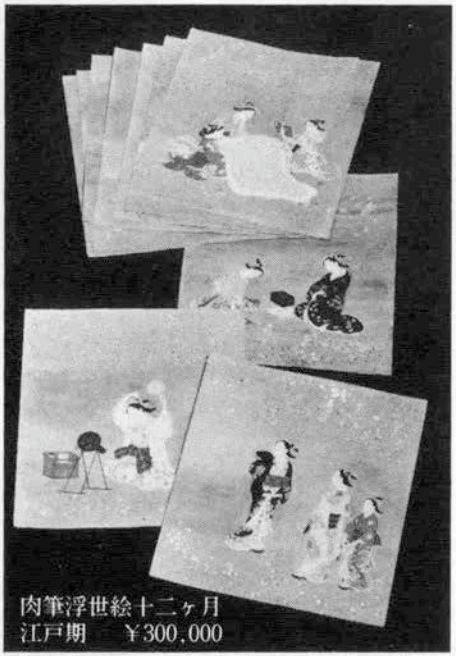
大体はヨーロッパ風料理のメニューが多いが、アメリカ風、東洋風、御注文に応じてというから、かなり料理のレパートリーは広い。ディナーも、魚、肉料理、そしてステーキと、値段も手頃である。社長の方針なのか、神戸だから良い肉を安く、という姿勢がここ八年続いているという。古いピアノ、さりげなく飾られた花。椅子の木の部分が何人もの人の手ではげかかっているのも、異人館にふさわしい。夕暮れになると、車寄せとベランダの石畳に丸い電気の花が咲くのも、なにやら人恋しい気分にさせて、食後のコーヒーがしみ通っていく。

会合、パーティ、二人っきり、ひとりだって合ってしまう、そんな雰囲気があって、また、坂を登ってみようという気になるのです。

コース／A（魚料理）・4000円　B（肉料理）・5000円　C（ステーキ）・8000円　肉のサシミ・3000円　ヘレの照焼・3500円　ビーフシチュー・2000円　唐揚・1000円　ランチ／1500円　コーヒー・300円

中央区北野町1丁目2－17　☎242－1234　午前11時～午後11時　11時～4時一般可　5時～11時会員制　無休

刀剣 古美術



肉筆浮世絵十二ヶ月
江戸期　¥300,000

毎月20日 無料鑑定
研磨、白サヤ、その他工作
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

刀剣 古美術 元町美術

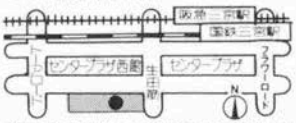
神戸市中央区元町通6丁目6—3
三越百貨店東へ150m 商店街山側
TEL 078-351-0081

ファッションに
“贅”を尽くすのは素敵。
でも、
いつも美しく着ている
人はもっと素敵。

EXCELSIOR
ROBE
ニシジマ

技術に贅を尽くしファッションを
常に美しく——ニシジマ

●型くずれの防止 ●素材感の回復 ●カルテの作成
●お客さまのお好みに合せた仕上 ●ファッションクリーニングの最新情報の提供



神戸市中央区三宮町2丁目10番7号
グレイス神戸B1☎(078)332-2440

コウベ ファッション ソサエティ
★神戸ファッション市民大学OBによるグループ
＜神戸のファッション都市化をめざす＞ K. F. S. news 57
事務局／神戸市中央区東町113－1
月刊神戸っ子内ＴＥＬ（078）331－2246

●ファッションマンスリーサロン「売る」シリーズ ①

80年代に売るということ

講師／山田恭一そごう神戸店々長

今年からテーマを決めてマンスリーサロンを、という試みの第1回目は、「大ヴァチカン展」など面白い企画展が続いているそごう神戸店の山田恭一さんにお願いしました。

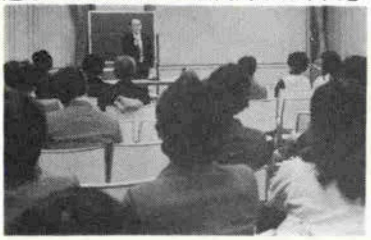
今までの安ければ売れていたという時代でないのが80年代、ちょっとしたアイディアや、買う人の気持を推し量ることで――つまり人間らしさが入ることで――売れ方がすごく違ってくるのが80年代だということです。

「画一的ではいけない」ということ、これは物でも人でも事柄でも、すべての今的要素だと思うけど、「ポートピア対策をどう考えているか？」という新聞記者に「始まってみなきゃわからないよ」と答えたという山田さんのポートピア対策は、時々刻々に合わせて適応していくという人間的な80年代志向、そしてそれは売るということの原点に戻るということだとおっしゃいました。

山田恭一さん

物がいっぱいあって、押し入れにもたんすにもあふれ返っているのに買ってしまっている時があります。そんな時、どんな人から買ったんだっけと考えると決まって売ることのプロから買っているんですね。商品知識はもちろん、売るという行為のプロフェッショナルたちです。よくいわれる神戸の専門店の人に多い、プロの売り手の方たちのこと。売るのハウ・トゥーではなくて「本当に売る」ということは、というお話しでした。

マンスリーサロンとしては初めて一般の方も多勢参加してくださった講座になりました。初めて参加された人も「面白くてよかった」という感想、今年は広く門戸を開いてのＫＦＳマンスリーサロン、好評裏のスタートを切ったようです。



★第6回身障者ファッション展示会

おかげさまで3年目、6回を迎えました。今回は何といっても一番の見所は「ウェディングドレス」と「フォーマルスーツ」じゃないでしょうか。レースのチュールがついた可愛いウェディングドレスは、車椅子を使っている人たち向きに考慮されているデザインでした。

肢装具を使った人のためには、金具があたるところに皮をはって丈夫に補強したもの。皮がアクセントになってデザイン的にも（さすが我らがメンバーたちはカッコ良くデザインしてくれなァーと感心）立派なもの。回を経る毎にファッショナブルになってきたこの展示会は、これからも楽しみです。

いつもいつもご協力くださって徹夜で縫製された皆さん、ご苦労さま、次回の展示会も楽しみにしています。またご協力くださる方は大歓迎、米田博司さん（☎577－6505）にご連絡を。

★ヤーチンのお店が改装

崔雅琴さんのブティックコーシン（センタープラザ1F☎391－1228）が改装オープン、ガラス張りで外から中がよく見える明るいお店になりました。崔さんが何してるのか丸見えであります。それはともかく、とても広々とした店内ですし、ここのお店の商品らしい（そして神戸らしい）春夏の明るい色が揃っています。

春のファッション公開講座

4月27日　6時30分開講
場　所／センタープラザ11Ｆ・Ｈ室
講　師／立亀長三さん＜ナクト　アトリエ＞
テーマ／81春夏ファッションの傾向（スライドとお話）
チケット／1500円（会員無料）

5月のマンスリーサロン

5月13日　7時より
講師／芹沢豊男セリザワ社長
テーマ／神戸の専門店における「売る」ということ
チケット／1000円（会員無料）

六甲山100コース

〈その61〉
聖ミカエル大聖堂—大師道—外人墓地—二十渉—徳川道—杣谷峠—アゴニー坂—天上寺—旧摩耶道—松蔭高等学校

アゴニー坂にて

八代 欽一
〈神戸聖ミカエル大聖堂主任司祭〉

外人墓地にて筆者

お花見、紅葉狩り、松茸狩りなど、日本では総称して「物見遊山」という。だが元来、山登りとは山岳仏教の修行的なものを意味するきびしいものであった。それが幕末から明治のはじめにかけて、海洋民族たる英国人がコウベに住みつき、六甲を愛し、ジェームス山の地名を残して、日本人にハイキングのレイジャーを教えた。布引の水も英国人が日本人に教えたものの一つである。

コウベの人間は明治の英国人に感謝しなければならない。そして布引の水を備えたもうた創造主たる神様に何より、感謝しなければならない。もし神様が気まぐれを起こされて、よき水を長崎に与えられていたとしたら、戦前からナガサキは六大都市の一つになっていたであろう。そして今頃、コウベは西宮か芦屋に編入されていたかも知れない。

× × ×

一般市民は入園するには許可が必要だが、私は修法ケ原の外人墓地にまず行くことにした。聖ミカエル教会の実に十数名のメンバーが平安に眠っているのである。しばしの墓前礼拝のあと、摩耶のアゴニー坂に向かった。

一八九四年、日本アルプス初登頂をしたウオルター・ウエストン司祭も一時期、フオス牧師のもとでコウベで働いていた。このウエストンばかりでなく、フオス師も他の英国人宣教師たちも登山が好きであったらしい。「毎日登山発祥の地、善助茶屋」から津田周二氏の玉稿を引用する。

「英国人でウォーカーさんは熱心に善助まで登った人で、ボーイスカウトに関係を持った人、当時、年に一回は富士山へ登られたとのことです。

イングリシュ・ミッション・スクールのヒュースさんも善助の常連の一人です……」

（神戸登山研修所発行）

毎春、イースターの喜びがやって来るが、その前の一週間を一年間で一番、厳粛な受難週として、宣教師たちは守ったものと思う。

By thine Agony and Bloody Sweat; by thy Cross and Passion; by thy precious Death and Burial; by thy glorious Resurrection and Ascension; and by the Coming of the Holy Spirit. Good Lord, deviler us:

以上は英語祈祷書の嘆願のなかに出てくる祈りであるが、日本聖公会祈祷書では、このアゴニーを「主の大いなる憂いと血の汗」と訳している。恐らく、十字架を背負ってゴルゴタの丘を目指して一歩一歩、重い足をはこばれるイエスを偲んだことと思う。コウベで出きる聖地巡礼であった。

旧陸軍航空隊の同期の桜、上山一郎元少尉とS記者を同行、アゴニー坂に到着したのが、二月二十五日、午後二時！　そして二十分で突破したが、それはしんどいことでありました。当年、五十七歳の私の血圧は一三〇―八〇の間、これの上下をはみ出る五十歳代の紳士はおやめになった方がよろしい。

アゴニー坂を登る前の余裕ある(？)ひととき（左が上山さん）

それから摩耶ロッジを経て、二時四十五分、天上寺を通過、旧摩耶道を経て、西郷橋を三時四十五分に通過、青谷の松蔭女子学院に到着、校長室でしばし雑談をした。

今春、コウベのポートピアに皇太子御夫妻が来臨されるが、その御側近く、松蔭のステキな制服で生徒達が参列するそうである。これは嬉しいグッド・ニュースである。

松蔭中・高校の安井校長と

明治十四年九月にフオス牧師は聖ミカエル教会を設立されたが、今年は創立百年を迎える。そのフオス師は英国聖公会(国教会)の協力のもとに、今の聖ミカエル保育園の土地に明治二十五年、松蔭女学校を設立した。初期の英国婦人教師たちも、ハイキングを楽しんだと思う。その通過地点の一つであった青谷に、サイズが大型化した松蔭が移転した。

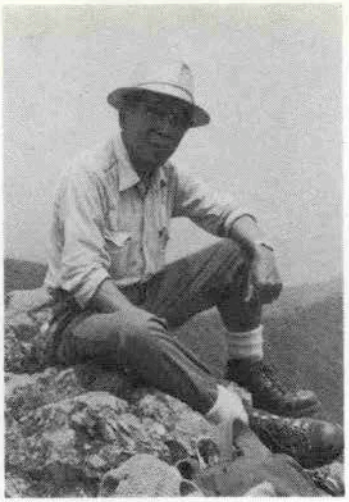
昭和四年五月に、青谷新校舎の定礎式を、来朝中の英国王室、グロスター公殿下がバジル主教とともにとりおこなった。その折の礎石は第二次世界大戦の戦災で校舎焼失となったお陰でボロボロとなったが、今も校庭に現存している。安井校長と、定礎の石のところで仲良く立って、しばし語らいの時をもった。

私のハイキング・コースの最後の目標地、松蔭をあとにしたのは夕暮れの五時をまわっていた。

〈その62〉
東お多福山―黒岩谷西尾根―六甲最高峰―石宝殿―林山―奥池

ちょっと不思議な話

松尾　寿久〈芦屋山岳会役員〉


黒岩谷西尾根にて筆者

ここに、私の好きなコースの一つとして、六甲山で、アルプスや大山の一部を思い浮かべられるような、スリル感もちょっぴり味わえる面白いコースを紹介してみましょう。

何分にもドビ割から一軒茶屋までの標高約三〇〇米程度の楽しみですが、天気のよい日なら一息登って振り向く度に、今まで東お多福山で隠されていた大阪湾の展望が次第に開けて心楽しくもなり、次々に山裾の街並も見えて来ます。

「秋晴や挑む痩尾根岩を踏む」とつい腰を下げたくもなる尾根ですが、足元には十分な注意がのぞましいコースです。

東は黒岩谷で一軒茶屋へ向かって登る人もあるので、小さな石でも次第に数を増し、大きな石をも落とすことになります。落石には特に注意願いたい。また、右は黒岩谷、左は東谷なので、足を踏み外して滑り落ちたら二度と尾根にとりつくことのできない所も二、三カ所あるようです。この尾根を登られた方もあろうかと思いますが、ドビ割から蛇谷北山石宝殿コースや、七曲がりコースでは味わうことのできないスリル感は六甲登山コース中数少ないものと思われます。

コースの起点は、東お多福山頂です。ここから北へ下り、ドビ割から黒岩谷へ約五〇米で谷を渡り、ざらざらの山肌を登ってから尾根伝いに登ればいいのですが、六甲山系でも特に風化のひどい岩石なので手足をかけるにしても十分に注意を願いたい。

「淡雪を踏む痩尾根の厳しかり」こうして詩心のある方には、人の何倍も楽しめるコースの一つともいえるでしょう。

尾根の悪路を登りつめると、右へ巻道がある。黒岩谷堰堤工事のため道らしく真っすぐになっていますが、熊笹道をしばらく歩くと一軒茶屋の下の展望よろしき所へつきます。

「前方にお多福山の芒道」「水尾長く行き交う船や春の海」下手な俳句でも考えながら登るとさほど苦になるコースではない。とにかくここまで登れば最高峰へ足を運び四方の展望を心ゆくまで楽しみたいものです。「雪道の苦しさ峰に置き去るや」

さて、下山コースは、西へ足を向けると数多く、また、北へ下って有馬温泉にてくつろぐのもよいが、この

「淡雪を踏む瘦尾根の厳しかり」と俳句を吟じながら山道を歩くのも一興である

度は東へと足を向けて石宝殿から林山を経て奥池コースとします。

このコースで、昭和五十二年の二月、不思議な不思議なことに出会ったことを少し書いてみることにします。

林山へは石宝殿下より自動車道を下り、宝殿橋料金所の見える所で右の小道を下り、広場の南端より林山への道に入ります。ここより下り道となりますが、その中ほどまで下った所で、雨後でもないのに椿谷より滝の音が大きく聞こえてきたのです。椿谷に大きな滝のあるはずがないとは思いましたが、一度確めてみたく、道なき山肌を滑るように下り、谷に着く手前四〇米ほどの藪中で喉が渇いて辛抱できない状態となったのです。ちょうどその位置に五〇糎程度の角の平らな岩を見つけたので、お茶を作り、一杯飲み、それでも飲み足らず、二杯飲み終わったのですが、先の一杯は何者かが飲んだのではなかろうか、と思えるような、ほんとうに不思議な気持ちでした。

お茶の後にみかんを一個食べて、さて下るべくザックに手をかけたその時、今まで腰を置いていた岩のすぐ側に丸い〝石〟が見えたのです。妻が漬物石が欲しいと言ったことを思い出し、丁度手頃と手をかけたら、ふわりと軽く上がった！　さて、よく見ると頭骸骨には間違いないのですが、人のものなのか動物のものなのか。残っている歯を手袋で磨いてみたところ接ぎ歯があり、人の頭骸骨に間違いない。しかし、他殺とすればこの藪中に運ぶことは無理。自殺となれば他の骨や遺物らしき物があるはずと周囲の落葉を掻いてみたが、何一つとして見当たらない。早速バスで帰り警察へ届けたところ、すぐにパトカー二台が現地へ向かい、付近を捜索されたが、遺物らしき物なく、後は警察へ依頼したような次第。

私は神霊とか人の霊魂などを信じたことはなかったが藪下の仏が人里に帰りたく、私を呼んだものと信じて疑はない気持ちになりました。

●神戸を福祉の町に〈88〉

子どもが生き生き育つとき

神戸大学教授 伊藤隆二氏の講演から——

橋本 明〈社団法人「家庭養護促進協会」事務局長〉

熱弁する伊藤隆二神戸大学教授

★ひ弱になった子どもたち

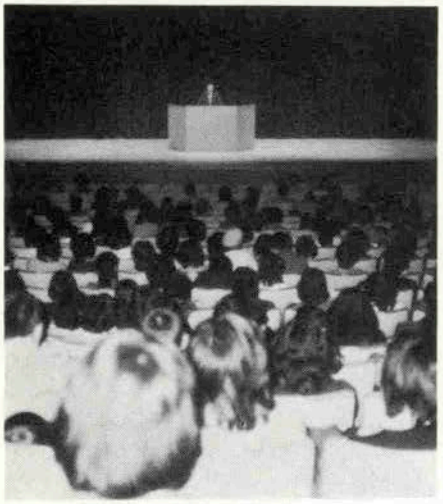
私がまだ子どもだった頃にくらべると、今の子どもたちは物質的には大変豊かで恵まれています。しかし、最近の子どもたちは何となくダラダラし、不平や不満をもっているようです。この十年ぐらいの間に子どもの身体は大変大きくなりましたが、体力はかなり衰えてきています。たとえば、ある子どもがケンカをして友達の頭をたたいたら、たたいた子の手が折れてしまった、という話を聞きます。また、運動会などで転ぶと、とっさに手が出なくておでこや顔を地面に打ってしまう子もいます。私の友人で、この二十五年間子どもの身体のことを調べている人がいますが、彼によると、今の子どもは以前の子どもたちと二つの点で違ってきているそうです。一つには、幼児期と小学生の高学年に現われるのですが、身長の伸びに伴い、お腹の出てくる子が増えてきていること、二つは、子どもの骨が細くなってきていることです。これは何でも便利になり、子どもが自分の身体を動かすことが少なくなってきたからだと思います。

次に、今のお母さんたちは、子どもの成長は何でも早い方がいいんだと思っているんですね。赤ちゃんが歩き出すのは普通一才すぎなのですが、隣の赤ちゃんが一才ぐらいで歩き出したということを聞くと「ようし、うちの子は十カ月で歩かせてみるわ」なんてことになる。歩行器などに乗せたりしていると多少早く歩けるようになるかもしれませんが、そうするとハイハイする期間が短かくなるので、早く歩くようになると腕の骨が細く弱くなるんです。身体の弱い子というのはたいてい早く歩かされた子に多いようです。

★情感を失なった子どもたち

先日、十二年ぶりに小学校一年生のクラスを受けもった先生のお話を聞きました。その先生は、ある悲しい童話を子どもたちに聞かせましたが、十二年前の子どもた

ちはその童話を聞いてみな目をまっ赤にしてすすり泣いていましたが、同じ童話を今の一年生に聞かせると、みなニコニコして笑い声が聞こえたそうです。十二年前の子どもたちは作者の気持にピッタリと共感するものがあったのですが、今の子どもたちにはそれがなくなっている、つまり情感を失なってしまっているんですね。幼稚園で飼っているカブト虫が死んだ時、ある子どもが「早く電池をとりかえてくれ」「ネジを巻いてくれ」といったそうです。「もうこのカブト虫は死んじゃって動かないんだよ」と先生がいったら、「あっ、そう」といって子どもたちはカブト虫をゴミ箱にポイと捨てたそうです以前の子どもたちは虫が死んでも土に埋め、手を合わせて供養をしたものです。生命に対する畏敬の念がないんですね。今の子どもたちは大変物しりで何でもよく知ってはいますが、情感に乏しくなってきているようです。しかし、それは子どもたちだけの責任ではありません。実は子どもを育てている私たち大人がすでに情感を失なってしまっているわけです。なぜそうなったのかといいますと、私は生きるための価値感がそうさせたんだと思います。つまり、「幸せ」というものは、ものをたくさん獲得することによって得られると思いこんでいるわけです。高い地位、権力、金、物を得るために、一流大学→一流高校→一流中学→小学校→幼稚園というような図式をもち、お母さんたちが子どもの立身出世に期待をかけているわけです。



ミチャリティ映画会と講演の集いミから

★夫婦仲の良いことが子育ての秘訣

情感のないお母さんに育てられた子どもは情感が育ちません。たとえばテレビで悲しいニュースを見ても「ああ、またか」で、何も感じないお母さんもいます。しかし、情感の豊かなお母さんは思わず涙ぐんでしまいますが、そのお母さんの涙をみて子どもの情感は育っていくんです。

昔の父親はこわく、なぐさめるのは母親で、いわゆる厳父慈母でしたが、最近はお母さんがこわくてお父さんがなぐさめる役の厳母慈父型が多くなってきたようです。お父さんが弱くやさしくなったのにはお母さんに半分の原因はあるようですが、お母さんがお父さんを尊敬しないようでは困ります。時々、子どもを励ますために「あなたはお父さんのようになってはいけませんよ」と口ぐせのようにいうお母さんがいますが、こういう言い方はダメです。両親が仲よく、むつまじい家庭からは元気のよい子が育ちます。子育ての秘訣は決して知識や技術ではないのです。

日本は現在、世界各地へ素晴しい電器製品や自動車、カメラなどを輸出していますが、21世紀には健康でたくましい日本人を海外に送り出すようにしたいものです。

心豊かな健康な子どもたちを育てあげること、これが私たちの責任でもあると思います。

★去る二月七日に神戸文化ホールで開催しました「チャリティ映画会と講演の集い」の講演の抄録です。みなさまのご協力のおかげでとてもいい催し物ができました。約70万円の収益は全額を里親運動を通して家庭を失なった子どもたちのために使わせていただきます。紙上をお借りしてお世話になりましたお礼を申し上げます。

FASHION●REPORT

水野正夫・和子ショー ファッションのプロセス〝MAGIC〟

「MAGIC」をテーマに、デザイナーの水野正夫・和子さんが、日本縦断のステージショーを展開。

関西では、神戸文化ホール（中）で、そのユニークな舞台が二月六日に催され水野正夫さんが来神。さっそく楽屋でインタビュー。

――「MAGIC」というテーマについて。

水野　私達の今までのショーは、小さな場所で身近に見て頂いていたのですが、今回は皆に着て頂ける服を、大きなステージで大勢の皆さんに見て頂こうという訳です。何をお見せしたいかというと、服を制作するプロセスを出したかった。洋服屋の裏面、それはマジック仕掛けなんですよ。まったく一枚の20mの布をタイトスカートとペチコートまでに重ねた感じで見せるというようなものですよね。今回は126点ありますが、プロセスのマジックをお見せしようと…。

それに、洋服にも寿命があるんですよ。だから流行はムリしてつくるのでなくて、人間のスピードで出てくる心臓の鼓動のように、溜ると流れて行く。流れて行くものが流行なので、それをカーツと引き寄せるとギャップが出てきましてね。

――フォンタナ風のドレスが印象的でした。

水野　あれはエクセーヌ（人工皮）を、切りっぱなしにしたのが、偶然そうなったんですが、縫わずに切ったところが立体感があって好評なんです。

まあ、私は、パリのオートクチュールの勉強を見て来ましたが、人間が、人間に合わせてサービスしてつくるのがオートクチュールで、泣きどころは数を少なくつくると労賃が高くつくということなんです。

だからこれからは、質のいいものでシンプルな服をつくって自分で重ねて重ねてコーディネイトしながら個性を出していく服になるんじゃないかと…。

――無地の作品が多かったですね。

神戸は精神的にリッチな街と水野正夫さん

マジックショーの風景

ニットのドレス

フォンタナ風エクセーヌドレス

オーガンディーのドレス

ユカタのミニドレス

水野　無地が好きですね。プリントをもってきてつくるのは楽なんですよ。無地はキビシイ。

それに洋服は、つくる方と着る方、両者の協力ですからね。前橋汀子さんなんか着る方がのって下さるので、つくる側も面白い。藤間勘十郎さんのお嬢さんの結婚式に、ウェディングドレスと、お色直しのドレスを二点、形は同じで、白いレースと次にピンクとムラサキの無地でお色直しをつくったら、中村歌右衛門さんが、こんなきれいな服は見たことがないといって下さって…。

だから洋服を着るということは、着たいと思った、やりたいと思ったことをやることにつながると思うんです。それは階段を上がることだと思うし、着てみたいという気が、やりたい、行ってみたいという心意気となって〝生きている〟ことにつながるし、その人の生き様にもなるんじゃないでしょうか。

――神戸の街と女性のファッションはいかがですか。

水野　神戸の女性は、セーターとスカートを着るのがうまいですね。何でもないところがきれいに見える。生活にもそういうところがあるのね。だからこの街は〝取った街〟で、シンプルなんですよ。

神戸へ通うということは〝見る〟ということですね。坂の街神戸は、精神的にリッチな街じゃないかしら。

Sportsworld33

●駆け出したくならないか？

スポーツ全般について言えることだけど、見るスポーツから参加するスポーツへ、非日常的な行為という見方から日常的なものだという認識へ、スポーツに対する感覚は大きく質的な変化を遂げている。これまで一部の人達のものだったスポーツは大衆化し、多様化して、だからスポーツグッズ達も新しいニーズに応えるべく多様化せざるを得なかった。スニーカーもそうだ。新しい技術を取り入れ、専門化したスポーツのあらゆるジャンルやシチュエイションに合わせてシューズもはき替えるべきなんだ。

アシックスのスカイセンサー（写真上）は〝レースを目指す人のために〟つくられた。195gという驚くべき軽さ、それに差込式のインナーソールが嬉しい知らせナイキのスマッシャーはハードコート専用のテニスシューズ（写真下）。独自のアウトソールは激しいダッシュやストップに優れた効果を発揮する。軽く疲れにくいニューフェイスだ。

春を、土の香りを胸いっぱいに吸い込んで、あなたは駆け出したくならないか？

スポーツワールド33では、トラック&フィールド担当の福井さんをはじめ、熱心なスタッフ達が、シューズ選びのアドバイスをしてくれる。問合せは、スポーツフィールド33・3階、シューズ売場☎078(332)7332まで。

PALEX

●ディスク時代は終わったか

最近のオーディオを眺めてつくづく感心するのが、カセット関係機器の高性能化だ。もちろん、前提としてカセットテープ自体の性能が向上したことがある訳だが、各種のステレオラジカセの性能を見ていると、ディスクの時代が終焉を迎えつつあるという意見を、つい肯定したくなる。

アイワのターボソニック77（写真上）のワウフラッター0・038%という数値は、ナミのデッキじゃかなわないだろう。ソニーのエナジー99（写真下）は2連アンプの採用で低歪率を実現。いずれも重低音の再生力をウリにしているのは、いかにもこの春登場のニューフェイス。音楽が原寸大で迫ってくる。

PALEX GOOD START FAIR!!

例えばパイオニア・プロジェクトシリーズのシステムコンポ&ラックは人気のLPレコード3枚付きで、153300円を99800円！　アイワのステレオラジカセLS75Xが60分音楽テープ10巻付きで、72300円を49800円!!

これはホンの一例。カメラや万年筆、ギターなど、オーディオ以外のお買得品もドッサリ揃えて、GOOD START FAIRは12日まで開催中。急げ!!

GENT HOUSE

●春です、ブレザーの季節

京阪神ではじめてのトータル・メンズ・ファッションストア、ゼント・ハウス。今月はお洒落にうるさいアダルトのための、4階エグゼクティブフロアにあるブレザーコーナーをご紹介します。

お洒落なアダルトに

このコーナーは30代後半から40代を対象、従来のものとはひと味違った感覚を好むお洒落な人向き。カラーブランド、サイズも豊富で、約300着が勢揃いしている。

新しい傾向として皮膚の一部分のような感じで着る、自然らしさをとり入れた麻素材のブレザーがナウい。ピエール・カルダンデザインのブレザー3万5千円から。ダブルブレザー3万円から。

●英国風パブ HUB が大好評

男どうし（女どうし、カップル女ひとりでもかまわない）陽気に飲んで遊んで話そうじゃないか。ゼントハウス1階にブリティッシュムード満点のスタンディング・バー、英国風パブ〝HUB〟は気軽に飲んで語れる、神戸の新しいコミュニケーション広場。スコッチウイスキー、シェリー酒、ビール、スタウトビール、オールド180円、オードブルが250円と150円モーニングセット、ランチセットもある。☎392－1317、営業時間AM10～PM11 年中無休

陽気なHUBで乾杯！

jjoint

●ジョイントが原宿にオープン

3月7日（土）、ヤングが集まりファッションと文化が生まれる街・原宿にジョイントがオープンした。場所は原宿駅近くの明治通りに面したプレイゾーン。3フロアのスペースと商品の豊富さはジーンズ専門店としては東京でも最大級で早くもヤングの話題を独占している。

神戸から原宿へ

ジョイント原宿 東京都渋谷区神宮前1－18－9 ☎03・408・0061 AM10～PM8

MLサイズ、カラー9種 3,900円

●オリジナルトレーナー

JOINTのロゴトレーナーが爆発的人気。100%コットン、3900円（4階ベーシックカジュアルコーナー）

●スポーティングライフストア

Sportsworld33

神戸市中央区三宮町2－10－7
☎078・(332)・7332 AM10～PM7

●ニューカルチュアストア

PALEX

神戸市中央区三宮町1－6－7
☎078・(391)・7911 AM10～PM7

●男の装い・男の愉しみ

GENT HOUSE

神戸市中央区三宮町1－5－16
☎078・(391)・7851 AM10～PM7

●ジーニングライフストア

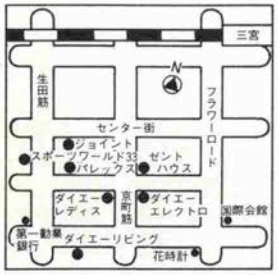
jjoint

神戸市中央区三宮町1－6－18
☎078・(321)・2046 AM10～PM7

●よい品をどんどん安く

ダイエー三宮店

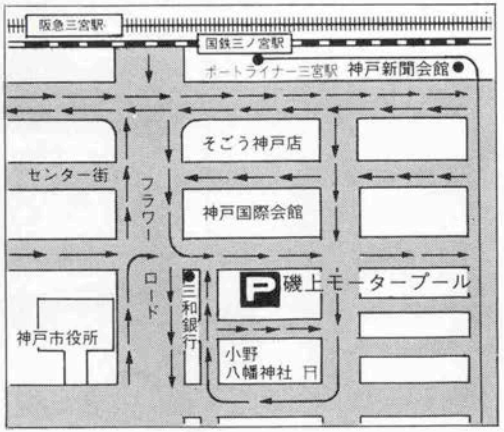
リビング・レディス
エレクトロ
☎078・(391)・8161 AM10～PM7



ビジネスに、ショッピングに

三宮で一番便利な

自走式立体モータープールです



- 収容台数 300台
- 月極駐車可
- 年中無休

(8：00AM～11：00PM)

磯上モータープール（神戸国際会館前） TEL.（078）251-7873